

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：倫理学 ILAS Seminar :Ethics		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,SATOU YOSHIYUKI	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 15 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Fri.5
Classroom	33, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. North Wing			Language of instruction	Japanese
Keyword	哲学 / 倫理学 / サルトル / 自由				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

倫理とは自由な主体の営みであり、自由な主体にとってしか倫理は意味をもたない。こういうものとしての自由を極限まで押しつめて考えたのがフランスの現象学派の哲学者サルトルである。授業では彼の思想を通じて、われわれの自由について見直したい。

テキストは講演原稿なので、哲学書としては比較的平易である。基本事項の解説を多く加えながら熟読する。

[Course objectives]

サルトルのテキストを英訳で読み、自由を中心とする哲学的・倫理的な問題意識に触れ、自ら考えとともに、彼の独自の自由論について、基本的な知識を習得する。

また、このことを通じて、学術的な文章の読解力を身につける。

[Course schedule and contents]

第1回：授業方法、成績の算定法等についてのガイダンスを行う。

第2回～第14回：上記テキストを精読する。その際、教員からの問題提起をきっかけに、学生が自ら考えを深めていくことを重視する。また、自由、倫理という事象、サルトルが属す現象学派の考え方、およびその背景にある近現代の哲学の流れについて、基本的な事項を理解してもらう。

第15回：フィードバック（詳細は別途連絡する。）

[Course requirements]

すでにこの授業（ILASセミナー：倫理学）の単位を修得したものが再度受講しても、卒業に必要な単位としては認められない。

ILASセミナー：倫理学(2)

[Evaluation methods and policy]

平常点。具体的には出席と参加の状況（50点）と授業時のテキストの訳の巧拙（30点）、質疑応答の際の授業内容の理解度（20点）を評価対象とする。予習が不十分な場合は減点対象である。

[Textbooks]

テキストはJean-Paul Sartreの仏語原著からの英訳"Existentialism Is a Humanism" (Yale University Press)を使用し、必要箇所をプリントにして配付する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

当日授業で読む箇所の予習は不可欠である。

[Other information (office hours, etc.)]

総合人間学部の学生は別途選抜を行うので、総合人間学部便覧のシラバスなどに記載の、総合人間学部生用の指示に従うこと。